

高岡市教育委員会 7 月定例会議事日程

日時：令和 7 年 7 月 30 日（水）

午後 1 時 30 分～

場所：高岡市役所 8 階 801 会議室

日程第 1 前回会議録の承認（6 月定例会）

日程第 2 教育長報告

日程第 3 議案第 15 号 高岡市社会教育委員の委嘱について

議案第 16 号 高岡市公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第 17 号 高岡市図書館協議会委員の委嘱について

日程第 4 その他

高岡市教育委員会令和7年6月定例会会議録

1. 開議・閉議年月日及び場所

令和7年6月25日（水）

開会 午後1時30分

閉会 午後2時10分

高岡市役所8階802会議室

2. 教育長及び教育長職務代理者

教 育 長	近 藤	智 久
職務代理者	長 尾	順 子

3. 出席委員の氏名

1 番	藤 重 歩
2 番	長 尾 順 子
3 番	成 瀬 隆 倫
4 番	永 岩 聡
教育長	近 藤 智 久

4. 欠席委員の氏名

なし

5. 事務局出席者

教育次長	村 上 彰
教育総務課長	芹 山 奈 緒 樹
教育次長（事）学校教育課長	津 田 久
生涯学習・スポーツ課長	高 山 篤 志
文化財保護活用課長	釣 和 洋
教育委員会参与	鳥 内 禎 久
教育センター所長	高 松 毅

6. 傍聴者

なし

7. 書記の氏名

野 吾 達 也
中 村 祐 太

【議事日程】

日程第 1 前回会議録の承認（5 月定例会）

日程第 2 教育長報告

日程第 3 報告第 6 号 臨時代理の報告について
（高岡市議会 6 月定例会に提出する議案に対する意見について）

日程第 4 その他

会 議 要 旨

令和7年6月25日（水）

午後1時30分、近藤教育長が開会を宣して議事審議に入る。

〔日程第1〕 前回会議録の承認

□ 先の5月定例会の会議録について、全出席委員が確認し、これに異議がなく、会議録として承認した。

〔日程第2〕 教育長報告

【学校教育課、教育センター】

・7月行事予定（資料No.1）

委 員： 高岡再発見講座等のような面白味のある研修は、以前からあったか。

事務局： 昨年から行っている。

委 員： 過去の自分の経験からいうと最も身になったのは、特別支援の研修だった。今も実施しているか。

事務局： 特別支援の研修は、6月に一度実施している。また、8月21日に通常級に在籍する子どものための特別支援に関する研修を予定している。

委 員： 去年は、木津小学校のみプールの実証実験を行っていたと思うが、今年は何の学校でやっているのか。

事務局： 高陵小と木津小がアクトス、伏木小の高学年が県総合プール、低学年と中学年がB&Gで実施している。

委 員： 県総合プールは、水深が深いイメージがあるが。

事務局： 水深が深いということで、高学年のみ利用させている。また、指導員の方々にも安全に留意いただいている。県総合プールとB&Gで行う水泳授業については、スポーツ協会や水泳協会の指導員に協力いただいている。

委 員： 専門の方が入られることによるメリットはどのようなことがあるか。

事務局： 教員の役割は主に安全確認の面に集中できるため負担減に繋がっている。また、専門の指導を受けられるということで、児童も楽しく水泳の授業ができていると伺っている。

委 員： 当日の送迎を見かけたがバスのスペックがやや立派であるように見受けられた。

事務局： そういった点も含め反省点があればしっかりと検証し、今後活かしてまいりたい。

【生涯学習・スポーツ課】

- ・ 7 月行事予定（資料No.2）

☐ 他に意見はなく、報告のとおり了承した。

〔日程第 3〕 報告第 6 号 臨時代理の報告について

（高岡市議会 6 月定例会に提出する議案に対する意見について）

委 員： 教育総合支援センターについて、場所的にやや奥まったところにあり、周辺道路環境もやや狭隘なような印象を受ける。

事務局： 教育センターが本丸会館にあったころから、旧平米小に支援センター設備があればというニーズがあった。また、今回本施設に通う子どもの保護者には、車を持っておられない方も多くおられるため、交通の利便性を優先した。加えて、適応指導教室に通う子どものために、落ち着いた広々とした環境が必要であった。

委 員： 送迎ができない親もいるので、公共交通機関が近くにあれば良いと考えていた。ただし、分かりにくい場所でもあるので、看板等の目印があれば良いと思う。

事務局： 関係部署との調整をしていく必要がある。

☐ 他に意見はなく、了承した。

〔日程第 4〕 その他

- ・ 令和 7 年 6 月定例会での質問及び答弁の概要（教育委員会関係）

☐ 全出席委員これに異議がなく、報告のとおり了承した。

午後 2 時 10 分、議事が終了したので教育長が閉会を宣した。

教育長報告

【学校教育課】

- ・ 8月行事予定（資料No.1）

【生涯学習・スポーツ課】

- ・ 8月行事予定（資料No.2）

【文化財保護活用課】

- ・ 重要無形文化財保持者の認定について（資料No.3）
- ・ 高岡市文化財保存活用地域計画の認定について（資料No.4）

8 月 主 要 行 事 予 定 表 (仮)

高岡市教育委員会 学校教育課 (2025 年度)

[illegible]

(宿) 集团宿泊学習 (外) 校外学習 (立) 立山宿泊学習 (研) 小・中合同研修会 (避) シェイクアウト訓練 (講) 講習会・講演会
 (水) 遠泳大会

令和7年8月主要行事予定（スポーツ関係） 生涯学習・スポーツ課

施設名		時間	行事日程
日	曜日		
東洋通信スポーツセンター（高岡市民体育館）			
16・17	土・日	8:00～21:00	富山県青年相撲大会

高岡市営弓道場

10	日	13:30～	上半期祝射会
----	---	--------	--------

城光寺野球場・城光寺補助競技場

9・10	土・日	8:00～17:00	第16回ヤングベースボール富山大会
30・31	土・日	9:00～17:00	マスターズ北陸大会

城光寺陸上競技場

30	土	9:00～16:00	トライアル高岡
----	---	------------	---------

スポーツコア（サッカー・ラグビー場）

2・3	土・日	9:00～18:00	イミズリージョナル少年サッカー交流大会（小学）
8～10	金～日	9:00～21:00	北信越国民スポーツ大会 サッカー（成年男子）
23	土	9:00～17:00	高岡市4種サッカー交流会（小学）
24・31	日	14:00～19:00	北信越U-16サッカールーキーリーグ

スポーツコア（人工芝フィールド）

2・3	土・日	9:00～18:00	イミズリージョナル少年サッカー交流大会（小学）
3	日	15:00～21:00	富山県U-12サッカーリーグ
4・6	月・水	9:00～17:00	TOYAMA ONE CUP 高校サッカー
8～10	金～日	9:00～21:00	北信越国民スポーツ大会 サッカー（成年男子）
22～25 29・30	金～月	16:00～21:00	高円宮杯U-18サッカーリーグ
23	土	9:00～13:00	高円宮杯U-18 T-3サッカーリーグ
30・31	土・日	9:00～17:00	JFA U-10リーグ兼高岡市スポーツ少年団本部長旗争奪サッカー大会ジュニアの部

スポーツコア（テニスコート）

2	土	9:00～17:00	ジュニアオープンソフトテニス県内予選会（中学）
8・9・10 11・13	金・土・日 月(祝)・水	9:00～18:00	北信越高校ソフトテニス研修大会
18・21	月・木	9:00～18:00	富山県ジュニアソフトテニス選手権大会
22～24	金～日	9:00～18:00	北信越国民スポーツ大会 ソフトテニス（成年男女・少年男女）

竹平記念体育館

3	日	8:00～17:00	高岡万葉の里ビーチボールマラソン
11	月(祝)	8:00～17:00	富山県ジュニアバドミントン選手権大会
17	日	8:00～17:00	9人制社会人東ブロック男女優勝バレーボール大会予選会
22～24	金～日	9:00～21:00	北信越国民スポーツ大会 バドミントン
30・31	土・日	9:00～21:00	高岡オープンラージボール卓球選手権大会

令和7年8月主要行事予定（スポーツ関係） 生涯学習・スポーツ課

施設名		時間	行事日程
日	曜日		

高岡西部総合公園（野球場）

9・10	土・日	8:00～17:00	第16回ヤングベースボール富山大会
16・17	土・日	10:00～	富山 石川 広島 女子軟式野球交流大会

高岡西部総合公園（多目的広場）

			野球場使用者と同様
--	--	--	-----------

高岡西部総合公園（室内多目的スペース）

			野球場使用者と同様
--	--	--	-----------

ふくおか総合文化センター

3	日	8:00～17:00	第2回剣道段位審査会
10	日	9:00～17:00	北陸ラージボール卓球オープン8月シャインマスカット大会
24	日	8:00～12:00	第3回昇級審査(剣道)

令和7年8月主要行事予定（文化関係） 生涯学習・スポーツ課

施設名		時間	行事名
日	曜日		

生涯学習センター事業

7・21・28	木	9:30～10:45	音楽講座～歌って踊ってリフレッシュ～ 講師：大村 禎子（音楽家） 小橋 美沙（ピアノ） 開催場所：生涯学習センター4階 スタジオ405 定員 10名
9・23・30	土	10:00～11:00	小中学生対象講座 能楽講座 講師：山崎 健（仕舞・歌謡） 瀬賀 尚義（太鼓・笛） 開催場所：文化芸能館3階『能舞台』 定員 各15名

重要無形文化財保持者の認定について

令和 7 年 7 月 18 日（金）に開催された国の文化審議会において、本市在住の林 曉氏^{はやしさとる}（71 歳）が重要無形文化財「髹漆」^{きゅうしつ}の保持者（いわゆる人間国宝）として答申されましたのでご報告いたします。なお、重要無形文化財保持者の正式な認定は、後日、官報告示されます。

1 林曉氏の主な略歴等について

- (1) 所属 富山大学名誉教授
- (2) 略歴 昭和 29 年 東京に生まれる
昭和 55 年 東京芸術大学大学院修士課程修了
昭和 57 年 第 29 回日本伝統工芸展初入選
平成 7 年 高岡短期大学産業工芸学科（現 富山大学芸術文化学部）助教授
平成 8 年 第 43 回日本伝統工芸展日本工芸会会長賞（優秀賞）
【作品】乾漆朱塗食籠^{かんしつしゅぬりじきろう}
平成 15 年 高岡短期大学産業造形学科（現 富山大学芸術文化学部）教授
平成 21 年 第 56 回日本伝統工芸展文部科学大臣賞（優秀賞）
【作品】乾漆蓮花食籠^{かんしつれんげじきろう}
平成 22 年 紫綬褒章
令和 5 年 富山大学名誉教授

2 認定状況

本市では金森映井智氏^{かなもりえい い ち}（彫金技術、H1 認定）、大澤光民氏^{おおざわこうみん}（鋳金技術、H17 認定）に次ぎ、3 人目の人間国宝となる。

<参考>重要無形文化財「髹漆」^{きゅうしつ}について

髹漆^{きゅうしつ}は、漆を塗ることを主とする漆芸^{しつげい}の基本となる技法。素地^{き じ}の造形、下地を経て、塗りや仕上げに至る広い工程には、多種の技術が必要で、漆芸の中で最も古い技法である。現在は、立体的な造形と漆特有の塗肌や光沢を活かした制作が行われており、芸術上価値が高く、工芸史上重要な地位を占めている技法である。

高岡市文化財保存活用地域計画の認定について

令和 7 年 7 月 18 日（金）に開催された国の文化財審議会において、高岡市文化財保存活用地域計画が文化庁長官の認定を受けました。

1 これまでの主な経過

- 令和 6 年 12 月 地域計画案のパブリックコメント実施（～ 1 月）
定例教育委員会（パブリックコメント実施報告）
- 令和 7 年 2 月 定例教育委員会（パブリックコメントの結果報告）
高岡市文化財保存活用地域計画作成協議会
- 3 月 高岡市文化財審議会
- 4 月 文化庁との協議（～ 6 月）
- 6 月 認定申請

2 認定日 令和 7 年 7 月 18 日

3 参考資料（別紙） 文化財保存活用地域計画（国文化財審議会資料）

07 高岡市文化財保存活用地域計画【富山県】

【計画期間】令和8～13年度（6年間）

【面積】209.58km²

【人口】約16.4万人



おくのほそ道風景地—有磯海—



【関連計画等】

ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」（H28年度）、日本遺産「加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡—人・技・心—」（H27年度）・「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」(H30年度)、歴史的風致維持向上計画（第2期、R3～12年度）

歴史文化の特徴

①豊かな水の恵みによる人々の営み ～西山丘陵・小矢部川・庄川扇状地～

西山丘陵が連なる小矢部川左岸は、古墳が集中するなど早くから人口集積が進んだ地域であった。右岸は庄川扇状地の湧水帯によって、古くから稲作が行われ、近世に形成された散村の風景が現在も残される。

②陸・川・海でつなぐ人とモノの交流 ～北陸道・北前船・鉄道～

小矢部川の舟運や伏木の港津機能は、古代より重要な交通機能として利用されてきた。加越能三州の要として築かれた高岡は、物流・経済の中心として発展し、近代には県内初の鉄道を敷設するなど時代を通じて交通の要衝になっている。

③大伴家持が愛した越中の風土 ～越中国府と万葉集～

伏木台地は、北陸最古級の寺院である御亭角廃寺をはじめ、越中国府の国庁や国分寺が置かれたほか、国守として赴任した大伴家持が数々の歌を詠むなど、古代から越中の政治・文化の中心となっていた。

④土地や人に根ざした信仰 ～祭礼行事と大寺院～

古代の土地に根ざした信仰、中世に広まった多様な仏教信仰は、高岡における文化財の形成の歴史を語る上で重要である。また、信仰と深く結びついている祭礼行事は、高岡独自の歴史的風致を形成している。

⑤バイタリティ溢れる町民のまち ～職人と商人のまちへ～

高岡中心市街地は、加賀藩2代藩主・前田利長により近世初期に形成された高岡城下町を礎としている。城下町は商工業の町へと転換され、「加賀百万石の台所」として、藩を支えた。

⑥受け継がれるものづくりの精神 ～伝統と挑戦～

近世以降、商工業都市として発展する中で銅器や漆器などの伝統工芸と技術が発展した。伝統技術を守りつつ時代に応じたものづくりに挑み続ける精神は、現在も息づいている。

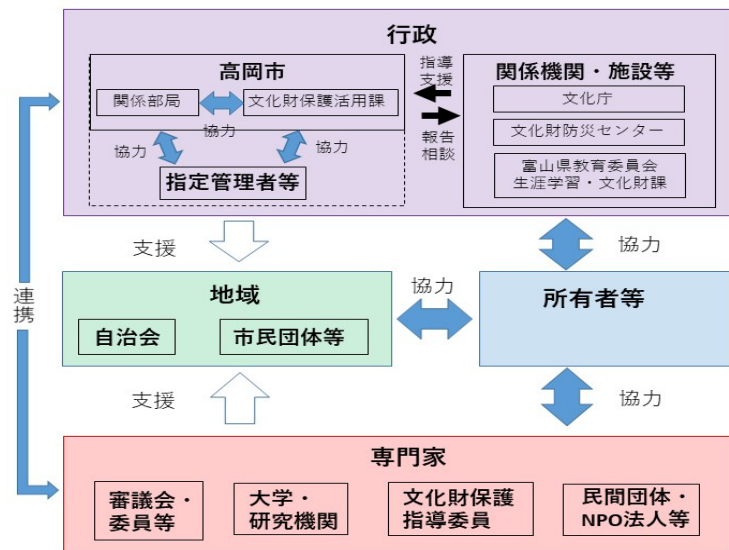
指定等文化財件数一覧

(令和6年3月現在)

類型		国				県		市	総数
		指定	選定	選択	登録	指定	登録	指定	
有形文化財	建造物	8	-	-	39	1	-	5	53
	絵画	2	-	-	0	1	-	4	7
	彫刻	2	-	-	0	5	-	12	19
	工芸品	2	-	-	0	4	-	19	25
	書跡・典籍	1	-	-	0	1	-	3	5
	古文書	0	-	-	0	1	-	14	15
	考古資料	0	-	-	0	0	-	4	4
	歴史資料	0	-	-	0	3	-	0	3
無形文化財		0	-	0	0	0	0	1	1
民俗文化財	有形の民俗文化財	1	-	-	1	0	-	2	4
	無形の民俗文化財	2	-	0	0	1	0	2	5
記念物	遺跡	3	-	-	0	4	-	14	21
	名勝地	1	-	-	0	0	-	1	2
	動物、植物、地質鉱物	0	-	-	0	2	-	10	12
文化的景観		-	0	-	-	-	-	-	0
伝統的建造物群		-	3	-	-	-	-	-	3
合 計		22	3	0	40	23	0	91	179

指定等文化財は179件、未指定文化財は1,802件把握

推進体制



課題

- ①多くの文化財が把握できていない
- ②調査・研究が十分ではない

- ①文化財所有者・担い手等の減少・高齢化
- ②修理・整備が十分でない
- ③収蔵庫が十分でない
- ④災害・被害リスクの把握が十分ではない
- ⑤防災・防犯対策が十分ではない
- ⑥被災文化財への対応

- ①情報発信が十分でない
- ②文化財を知る機会が十分でない

- ①公開・活用の充実が必要
- ②周辺環境整備が十分でない
- ③観光活用の充実が必要

- ①行政の連携体制の円滑化
- ②地域における保護体制が十分ではない
- ③文化財保護の支え手の減少

方針

- ①文化財把握調査の推進
- ②計画的な調査の推進

- ①文化財所有者・担い手等への支援
- ②指定等文化財の整備の推進
- ③収蔵保管方法の検討
- ④文化財の状況把握
- ⑤防災・防犯対策の推進
- ⑥被災文化財の復旧

- ①文化財情報の内容・発信の充実
- ②郷土学習機会の充実

- ①公開・活用の推進
- ②周辺環境整備の推進
- ③文化観光の推進

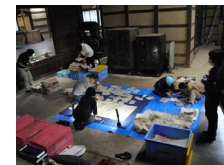
- ①行政の連携体制の整備
- ②所有者等、地域、専門家と行政の連携体制の強化
- ③文化財保護の支え手の育成

措置の例

1-①-2 地域資料継承支援事業

産学官連携によって、地域資料（古文書等）の把握調査を行う。

- 行政・所有者等・地域・専門家
- R8～13



2-①-8 文化財等修理補助事業

文化財の保存修理を行うことで高岡の伝統技術の継承を図る。

- 行政・専門家
- R8～13



2-②-3 高岡城跡保存活用事業

保存活用計画、整備基本計画に基づく保存整備事業を実施する。

- 行政・所有者等・専門家
- R8～13



3-②-5 「高岡再発見」プログラム事業

児童が家族と一緒にスタンプラリー形式で文化施設を見学する。

- 行政
- R8～13



4-①-2 ミラレ金屋町開催事業

町家暮らしや伝統文化を体験する「ミラレ金屋町」を開催する。

- 行政・所有者等・地域
- R8～13



5-②-3 地域の歴史文化資産調査支援事業

地域が専門家とともに美術工芸品の文化財調査を支援する。

- 行政・所有者等・地域・専門家
- R8～13



7つの関連文化財群

①水の恵みと米づくりに関わる文化財群

小矢部川左岸は県内で最も古墳が集中し、早くから栄えた。右岸は古くから稲作が行われ、加賀藩の財政を支える穀倉地帯となった。福岡周辺では菅栽培が行われ、菅笠は特産品となっている。

菅田と菅干し



⑤祭礼行事に関わる文化財群

祭礼は、神への感謝と祈念の行事であり、住民の情熱が注ぎ込まれた。高岡御車山祭や獅子舞など、古くからの精神や作法等を伝える。

高岡御車山祭の
御車山行事



②交流と物流に関わる文化財群

小矢部川と庄川の水運と伏木の港により多くの人とモノが行き交った。近世の高岡は物資の集散地として藩の経済の一翼を担った。明治に入ると鉄道や港などの近代化を行い発展した。

旧秋元家住宅



⑥商工業のまちの成立と繁栄に関わる文化財群

高岡城の廃城後、商工業都市に転換した高岡は藩の経済の一翼を担った。商人が蓄えた資本は明治以降、産業基盤などに投資して近代化を図り、「北陸の商都」と呼ばれた。

山町筋伝統的建造物群保存地区



③大伴家持と越中万葉に関わる文化財群

万葉歌人の大伴家持は越中国守であった。『万葉集』のうち越中に関わる337首は、「越中万葉」と呼ばれ、自然景観や国守の職務の一端を今に伝える貴重な資料である。

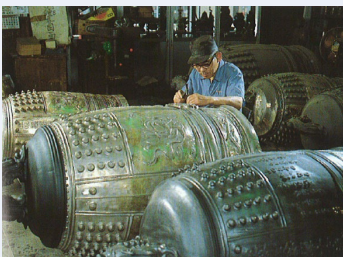
大伴家持像



⑦ものづくりに関わる文化財群

ものづくりの歴史は弥生時代の玉づくりに遡る。近世の高岡は鋳物や染物、漆器など職人の町であった。鋳物は明治に美術工芸品としての技術も向上した。高岡のものづくりは今も発展し続けている。

高岡銅器



④大寺院と仏教文化に関わる文化財群

北陸最古級の廃寺や越中国分寺など古くから仏教が盛んである。市内には国泰寺や勝興寺、瑞龍寺などに多くの文化財が残されている。仏教は銅器や漆器、仏壇など産業に大きな影響を与えた。

瑞龍寺



日本遺産も「ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用」していく関連文化財群である。

加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡
—人・技・心—

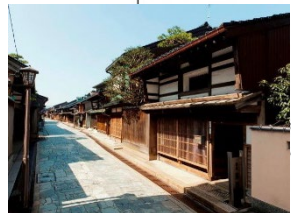
荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間
～北前船寄港地・船主集落～

概要

近世、高岡町は商人の町であり職人の町であった。家具や漆器のほか、染物、和傘などが生産されたが、最も特徴的なものは鋳物である。最初は、鍋・釜などの鉄器具類が作られていたが、やがて銅器を生産するようになった。高岡の商人は、広く販路を求めるとともに顧客の用など様々な情報を持ち帰り、鋳物師・細工師・仏具師らを結びつけ、需要に応じた様々な銅器を生産した。江戸時代後期には全国各地に販路を広げ、19世紀中頃からは海外貿易も行った。明治時代には、金沢や富山などから彫金師達を吸収し、美術工芸のさらなる技術向上を図り、万国博覧会で賞を得る一方で、設備の近代化を図り、工業品として販路を拡大した。高岡産のニシン釜は、明治の北海道を支えたニシン肥料製造の必需品となり、現在も北海道各地に残されている。鋳物技術を活かしたアルミ産業は高岡の主要な産業のひとつとなっていく。

銅や綿など原料を産出せず、地理的に恵まれているとは言えない高岡において様々な産業が興るのは、高岡にもものづくり文化が根付いているからである。市内には、鋳物師の町並みをはじめ、鋳物や漆器の製作技術や道具類、工芸作品などがのこされている。

構成文化財



金屋町伝統的建造物群保存地区

仁安の御繪旨
前田利長書状
鰐口
高岡鋳物の製作用具及び製品

有磯正八幡宮神輿
青銅随神像

時鐘
銅造阿弥陀如来坐像



関連文化財群に関する課題

- ・従事者の高齢化などによって担い手が不足し、事業継続が難しい事業者が出てきている。
- ・ものづくりのまち高岡を支えていくため、市民の意識醸成を図る必要がある。

関連文化財群に関する方針

- ・伝統産業の高度・希少な技術の継承への支援や伝統技術を継承する人材養成を行う。
- ・学校における「ものづくり・デザイン科」事業等、優れた技術を持つ人々と市民の交流の機会を設け、ふるさとの伝統と誇りへの理解を図る。

関連文化財群に関する主な措置

⑦-1 伝統工芸産業人材養成スクール事業

伝統工芸産業に関わる人材に対し、技術習得を目的としたスクール事業を実施。

■行政 ■R8～13

⑦-6 ものづくり・デザイン科推進事業

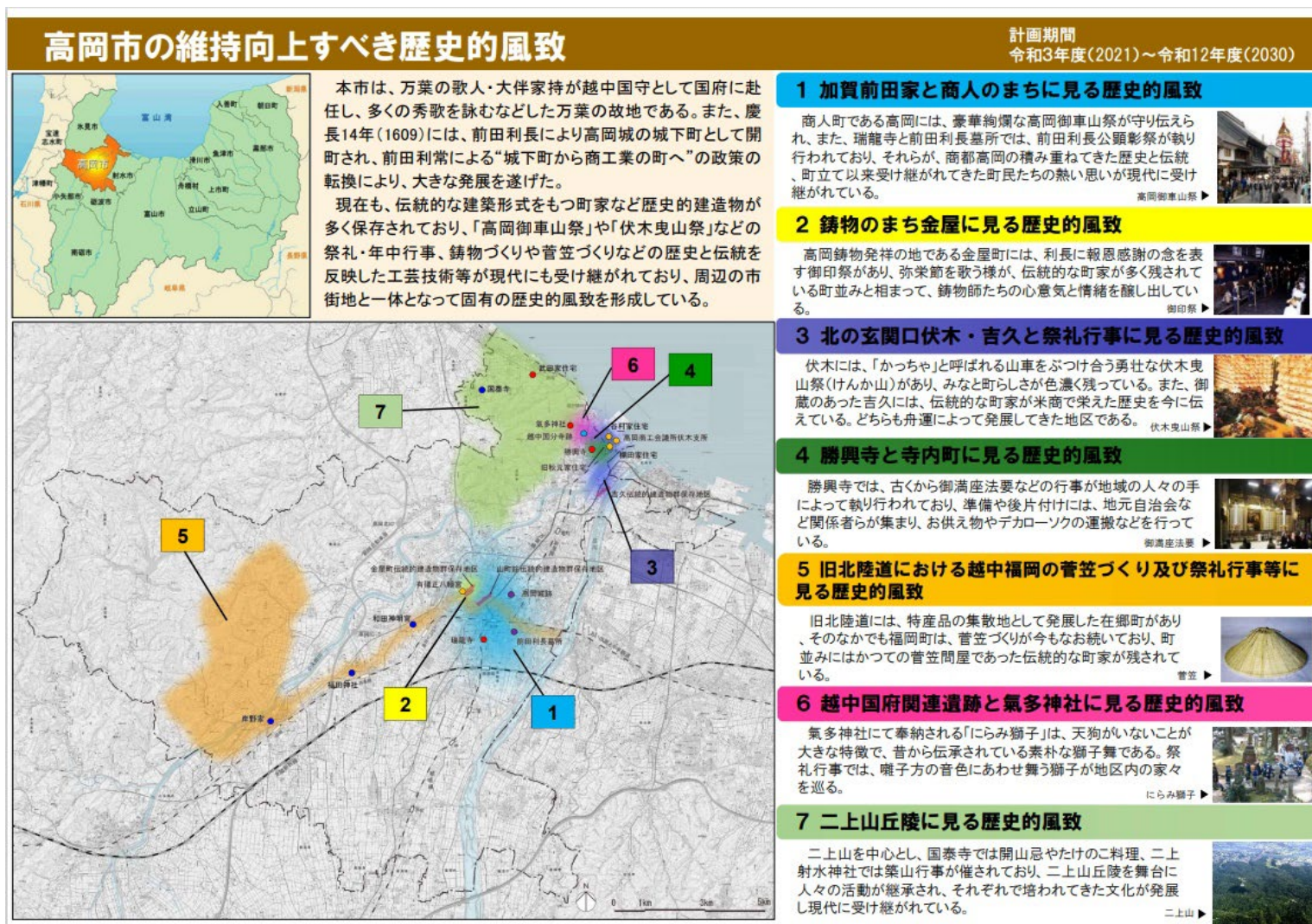
高岡市の伝統工芸について体験を通じた学習を行う。

■行政・専門家
■R8～13



【参考】 関連計画等

高岡市歴史的風致維持向上計画（第2期 令和3～12年度）



議案第 15 号

高岡市社会教育委員の委嘱について

高岡市社会教育委員を次のとおり委嘱する。

令和 7 年 7 月 30 日提出

高岡市教育委員会教育長 近藤 智久

氏 名	性別	所属団体等名称
炭谷 靖子	女	社会福祉法人 高岡市社会福祉協議会 会長

(任期 令和 7 年 7 月 30 日から令和 8 年 3 月 31 日まで)

議案第 16 号

高岡市公民館運営審議会委員の委嘱について

高岡市公民館運営審議会委員を次のとおり委嘱する。

令和 7 年 7 月 30 日提出

高岡市教育委員会教育長 近藤 智久

氏 名	性別	所属団体等名称
藤田 晴久	男	高岡市連合自治会 副会長

(任期 令和 7 年 7 月 30 日から令和 8 年 8 月 31 日まで)

議案第 17 号

高岡市図書館協議会委員の委嘱について

高岡市図書館協議会委員を次のとおり委嘱する。

令和 7 年 7 月 30 日提出

高岡市教育委員会教育長 近藤 智久

氏名	性別	所属団体等名称
北村 宜也	男	富山県立志貴野高等学校
平 紀子	女	高岡市学校図書館教育研究会会長
藤田 和耕	男	高岡商工会議所青年部会長

(任期 令和 7 年 7 月 30 日から令和 8 年 7 月 31 日まで)